学校番号	315

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｃ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂版　高等学校　数学Ｃ　（数研出版）						
副教材等	改訂版　チャート式　解法と演習　数学Ⅲ＋Ｃ（数研出版） 改訂版　教科書傍用　４プロセス　数学Ⅲ＋Ｃ（数研出版） 改訂版　教科書傍用　４プロセス　数学Ⅲ＋Ｃ　解答編（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では課題に対して、自ら学ぶ意思をもって積極的に数学へ関わってください。
・多くの公式が出てきますが内容をしっかりと理解し暗記するだけにならないように注意してください。
・数学Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂの内容が随所に出てきます。数学Ⅰ・Ⅱ・Ａ・Ｂの内容の理解が不十分な生徒は復習を怠らないようにしてください。
・問題集については、授業の開始時や定期考査の時に提出してもらいます。考査前にまとめて解くのではなく、授業毎に学んだ内容の部分を少しずつ解くように心がけてください。わからなかった問題にはマークを付けておく等工夫し、何度もやり直せるようにしてください。
・わからない部分を放っておいて、いつの間にかできるようになっていた、ということはほとんどありません。友達に聞く、先生に聞く等、問題を解決する努力も重要です。

2　学習の到達目標

ベクトル、複素数平面、式と曲線、数学的な表現の工夫についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともにそれらを積極的に活用する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に 学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトル、複素数平面、式と曲線、数学的な表現についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，ベクトル、複素数平面、式と曲線、数学的な表現数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 2	平面上のベクトル	第１節 ベクトルとその演算 1　ベクトル 2　ベクトルの演算 3　ベクトルの成分 4　ベクトルの内積	a：ベクトルに関する用語，記号を適切に用いることができる。 b：ベクトルを書き並べて、ベクトルの和、差、実数倍の考察ができる。 c：内積の定義，表記などを理解している。ベクトルの成分表記に興味をもちその規則性を発見しようとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返りシート
		第２節 ベクトルと平面図形 5 位置ベクトル 6　ベクトルの図形への応用 7　図形のベクトルによる表示	a：位置ベクトルの意味と性質を理解し，求められた位置ベクトルを表示することが出来る。 b：位置ベクトルの考え方を利用し様々な図形の問題を解決することができる。 c：図形の問題をベクトルの考え方を利用して解決しようとする意欲があり、解決に向けて考察しようとする	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返りシート
	空間のベクトル	1　空間の点 2　空間のベクトル 3　ベクトルの成分 4　ベクトルの内積 5　ベクトルの図形への応用 6　座標空間における図形	a：空間のベクトルの意味を理解し，成分、内積の計算を行うことができる。 b：空間ベクトルの考え方を利用し、空間図形の様々な問題を解決することができる c：空間図形の問題をベクトルの考え方を利用して解決しようとする意欲があり、解決に向けて考察しようとする	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返りシート
	複素数平面	1　複素数平面 2　複素数の極形式 3　ド.モアブルの定理 4　複素数と図形	a:複素数平面に関する基本的な概念を理解し，極形式で表すことができる。 b:極形式、ド.モアブルの定理について正しく理解し、図形について複素数平面の考え方を用いて考察することができる。 c:様々な図形に対して、複素数平面の考え方を積極的に用いて理解しようとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返りシート

	式と曲線	第1節 2次曲線 1　放物線 2　楕円 3　双曲線 4　二次曲線の平行移動 5　二次曲線と直線 6　二次曲線の性質	a: 二次曲線に関する基本的な概念を理解し，区別をすることができる。 b: 二次曲線について正しく理解し、様々な事象について、その考え方を用いて考察することができる。 c:身の回りの事象に関して、興味、関心を持ち、二次曲線の考え方を用いて理解しようとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返りシート
		第2節 媒介変数表示と極座標 7　曲線の媒介変数表示 8　極座標と極方程式 9　コンピュータの利用	a:媒介変数表示と極座標に関する基本的な概念を理解し，正しい判断をすることができる。 b: 媒介変数表示と極座標について正しく理解し、様々な事象について、その考え方を用いて考察することができる。 c: 媒介変数表示と極座標に関して、興味、関心を持ち、その考え方を用いて理解しようとする意欲がある。	確認テスト 定期考査	ノート レポート 定期考査	振り返りシート
3	数学と社会生活	1　データの表現方法の工夫 2　行列による表現 3　離散グラフによる表現 4　離散グラフと行列の関連	a:数学と社会生活に関する基本的な概念を理解し，活用することができる。 b:数学と社会生活について正しく理解し、様々な事象について、それぞれの考え方を用いて考察することができる。 c:日常生活に存在するデータに関して、興味、関心を持ち、性質を理解しようとする意欲がある。	確認テスト	ノート レポート	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
○を付けている。